

令和２年度（後期） 道徳・いじめ 生徒アンケート結果

※集計表では７組は学年集計に含めます。

			1－1	1－2	1－3	1－4	2－1	2－2	2－3	2－4	3－1	3－2	3－3	3－4	3－5
Q 1	道徳の時間は	先生の話聞く時間	2	2	1	2	5	5	0	0	7	2	1	9	4
		自分（たち）が考える時間	31	30	30	30	20	20	21	27	17	21	21	15	18
Q 2	いじめがあったとしたら、誰か先生に	相談しやすい	16	17	11	14	8	9	8	13	11	13	13	8	14
		相談しにくい、する	10	11	15	13	8	9	11	14	9	10	7	6	8
		相談できない	7	3	4	5	9	6	2	0	4	0	2	10	0
在籍数			35	35	34	35	30	30	29	29	26	26	26	27	27
回答者数			33	32	31	32	25	25	21	27	24	23	22	24	22
回収率			94.3%	91.4%	91.2%	91.4%	83.3%	83.3%	72.4%	93.1%	92.3%	88.5%	84.6%	88.9%	81.5%

各選択肢 回答人数

回答者数に
占める割合

※小数点以下四捨五入のため
和が100になりません。

			1 年	2 年	3 年	合計	1 年	2 年	3 年	合計
Q 1	道徳の時間は	先生の話聞く時間	7	10	23	40	5%	10%	20%	12%
		自分（たち）が考える時間	122	93	92	307	95%	90%	80%	88%
Q 2	いじめがあったとしたら、誰か先生に	相談しやすい	59	40	59	158	46%	39%	51%	46%
		相談しにくい、する	49	45	40	134	38%	44%	35%	39%
		相談できない	19	17	16	52	15%	17%	14%	15%

・道徳の授業は概ね、生徒が自分（たち）が考える時間だと捉えるような内容・組立となっていると思われる。
・この問いでは、ねらいである「道徳的価値について考えているか」までは確かめることはできないので、今後は教材や問い、生徒の反応やそれへの認めの言葉がどうであるかを確かめる必要がある。

・いじめがあった場合（自分について、あるいは周囲についてなのかは曖昧に問われている）、学級担任に限らず「誰か先生に」相談できるかどうかを問うところ、概ね相談できると回答している。
・日頃の接し方や、これまでのいじめへの取り組み方が反映していると思われるが、相談できない生徒が0になるよう努める必要がある。